

各 位

会 社 名 日本空港ビルデング株式会社 代表者名 代表取締役社長 横田 信 秋 (コード番号 9706 東証第 1 部) 問合せ先 常称締役執行役員管理本部長 田 中 一 仁 (TEL. 03-5757-8030)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成28年5月11日の決算発表時に公表しました平成29年3月期第2四半期累計期間の業績予想(連結及び個別)及び平成29年3月期の業績予想(連結及び個別)を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

平成29年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日~平成28年9月30日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株 当 た り 四半期純利益
前回発表予想(A)	107, 400	6, 300	7, 800	5, 600	68円94銭
今回修正予想(B)	99, 800	4, 400	6, 200	4, 100	50円47銭
増 減 額 (B-A)	△7,600	△1,900	△1,600	△1,500	
増減率 (%)	△7.1	△30. 2	△20.5	△26.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	100, 080	6, 578	7, 729	5, 277	64円97銭

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	221,000	12, 900	15, 600	11, 100	136円65銭
今回修正予想(B)	202, 900	8,800	11, 400	7, 200	88円64銭
増 減 額 (B-A)	△18, 100	△4, 100	△4, 200	△3, 900	
増減率 (%)	△8.2	△31.8	△26. 9	△35. 1	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	204, 134	11, 302	13, 654	8, 870	109円20銭

(参考)

平成29年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成28年4月1日~平成28年9月30日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1 株 当 た り 四半期純利益
前回発表予想(A)	84, 100	4, 500	3, 100	38円16銭
今回修正予想(B)	78, 500	3, 900	1,700	20円93銭
増 減 額 (B-A)	△5, 600	△600	△1, 400	
増 減 率 (%)	△6. 7	△13. 3	△45. 2	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	80, 827	5, 109	3, 414	42 円 04 銭

平成29年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	173, 900	9, 500	6, 500	80円02銭
今回修正予想(B)	159, 500	7, 400	4, 200	51円71銭
増 減 額 (B-A)	△14, 400	△2, 100	△2, 300	
増 減 率 (%)	△8.3	△22. 1	△35. 4	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	165, 564	9, 538	4, 703	57円90銭

2. 修正の理由

当第2四半期累計期間における業績予想(連結及び個別)につきましては、前年下期から続くいわゆる「爆買い」沈静化の傾向が予想以上に大きく、これにより国際線の商品売上における購買単価が予想以上に減少したことに加え、市中免税店の売上も当初計画を大きく下回り推移したことから、売上高及び各利益につきまして前回発表予想数値を下回る見込みとなりました。

通期(連結及び個別)につきましても、引き続き訪日外国人旅客数の増加が見込まれる中、更なる販売施策の強化により商品売上の増収に努めるものの、下期においても市中免税店を含む国際線の商品売上が当初計画を下回って推移するものと予想され、売上高及び各利益が前回発表予想数値を下回る見込みとなりました。

なお、平成29年3月期第2四半期決算発表につきましては、平成28年11月9日を予定しております。

※ 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の 業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。